



- 年頭随想 128年前の医師試験対策書
- 平成30年間を振り返って(貸出ランキング)
- 図書館からのお知らせ
館内に長時間滞在するみなさまへ ほか

年頭随想 128年前の医師試験対策書

図書館長 藤尾 均

学生の皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年が皆さんにとって佳い年になるよう祈っています。

さて、仕事始めの日（1月4日）、本学の久保良彦名誉教授（元学長・外科学第一講座教授）から、御自宅にあった明治・大正時代の医学関係の貴重書が4点、本学図書館に寄贈されました。久保先生にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

寄贈書の中の1冊に、今から128年前の1891（明治24）年3月に出版された、佐々木穰編集『医術開業試験問題 答案集』があります。医師を志す者が利用した受験対策書です。B6サイズ約200頁のかなりコンパクトな本ですが、活字がぎっしり詰まっています。

皆さんは「医術開業試験」というのを御存じでしょうか。1884（明治17）年から1916（大正5）年まで行われていた、医師の開業試験です。これに合格しさえすれば学歴にはほぼ関係なく開業医になれるという試験で、まだ医学の高等教育機関（大学医学部や医学専門学校）が十分には整備されていなかった時代に、医師の数を増やそうとして採用された制度で、年に2回、実施されていました。

ペーパーテストは「理学（物理学）」「化学」「解剖学」「生理学」「薬物学」「内科学」「外科学」「眼科学」「産科学」の計9科目から成り、すべてが論述式でした。ほかに「臨床実験」が課されました。合格率は毎回10～20%程度であったとされていますから、かなりの難関です。

制度が廃止された1916（大正5）年までの間に、この試験によって通算2万人以上が開業医になったとされています。ちなみに、千円札の肖像にもなっている野口英世は、高等小学校卒の学歴しかありませんでしたが、1897（明治30）年にこの試験に合格して医師免許を取得しました。



久保先生が御寄贈くださった『答案集』は「増補改訂第三版」で、これには1884（明治17）年から1890（明治23）年までの間に行われた計14回の試験の過去問（計710問）と、その模範解答が収録されています。模範解答の長さは、問題にもよりますが、おおむね100～200字です。

この『答案集』の中から、過去問を各科目1つずつ紹介してみましょ。当時は旧漢字・旧仮名遣い（片仮名）で表記されていましたが、原文のままでは読みにくいので、適宜、現代風に改めました。年頭にあたり、100年以上前の医師志望者に交じってチャレンジしてみませんか。この貴重書の現物は、いずれ図書館の貴重書室に置き、希望者に閲覧していただく予定です。

- * 鉄片に磁石性を付与するときはその重量に増減あるや否や、理由を挙げてこれを答えよ(理学)。
- * ブドウ糖の性状、および尿中に含有する糖を検出する法如何(化学)。
- * 胸骨各部の名称および形状、ならびに付着筋の名称および関節骨の数を挙げよ(解剖学)。
- * 健康体において体温一定の度を超えて昇降することなし、その理如何(生理学)。
- * 硫酸銅の医治効用用量および1、2の処方(薬物学)。
- * 胃癌と胃潰瘍との鑑別(内科学)。
- * 気管切開術を要する適症を挙げ、上切開術・下切開術の利害を記せ(外科学)。
- * 白内障の原因・種類および治法の種類(眼科学)。
- * 前置胎盤に起因したる分娩時出血の処置(産科学)。

平成30年間を振り返って・・・

今年は元号が変わる年ですね。何という元号になるのかちょっと楽しみですが、元号が書かれていないカレンダーはちょっと寂しいですね。え？元号なんてあんまり気にしていないですか？この機会に日付表示を西暦に変えてしまったシステムも多いようで、それは利便性から仕方が無いのでしょうか、日本独特のものが減るのは、ちょっと寂しい感じもしますね。

さて、平成の30年間、本学図書館の所蔵本でよく読まれた本のランキングを出してみました。「平成元年に購入した本と昨年購入した本を比較するの？」とか「1冊しかない本と、複数冊ある本を比較するの？」など、統計にはシビアなみなさまのご批判は承知の上で、単なるランキングを出してみました。

医学書

	書名 出版年 (出版社)	貸出回数	所蔵冊数
1	標準放射線医学 第6版 2001年 (医学書院)	457	4
2	標準精神医学 第5版 2012年 (医学書院)	450	9
3	標準精神医学 第6版 2015年 (医学書院)	421	10

看護学書

	書名 出版年 (出版社)	貸出回数	所蔵冊数
1	疾患別看護過程の展開 第3版 2008年 (学習研究社)	354	6
2	母性看護実習ガイド 2007年 (照林社)	328	4
3	術中/術後の生体反応と急性期看護 2000年 (医歯薬出版)	286	7

医学書は、鉄板「標準シリーズ」が上位を独占！しました。4冊しかないのに第1位となった「標準放射線医学」は凄いですね。また、「標準精神医学」は、直近2版（最新：第7版 2018年）で2位3位となりました。そして第7版も現在すべて貸し出し中です。9冊10冊を購入することは滅多にないのですが、この貸出回数をみると納得です。第7版(5冊所蔵)も近いうちに追加購入することになりそうです・・・。

看護学書は、長く読まれている本がランクインしました。3位の「術中/術後の生体反応と急性期看護」は第2版も出ているのですが、初版もまだ利用されています。

図書館では、みなさまに多く使われる本を複数購入し（複本といいます）、できるだけ利用希望に応えるようにしています。それでも人気本は、繰り返し使うことの重圧に耐えかねて破損してしまい、やむなく戦線離脱で修理となり、結果的に利用可能冊数が減ってしまうことになることもあります。

図書館の本はみんなですべて使う本です。大事に使ってください。また、ご希望の本が棚に見当たらないときは、遠慮なく図書館カウンターにお尋ねください。

図書館からのお知らせ

■ 館内に長時間滞在するみなさまへ

年明けから試験勉強で長時間滞在する方が増えています。頑張るみなさまが気持ちよく図書館を使えるように、以下のことにご注意ください。

・体調が良くないときは無理せず休養を！

図書館は湿度が低く閉鎖している空間なので、風邪など感染しやすい環境です。風邪の時に無理をして滞在していると、自分の体調にも良くないですし、他の人にうつしてしまうかもしれません。そんな時は無理せず自宅でゆっくり休んでください。また、咳が出る時のマスク着用と、鼻をかんだ後のティッシュを各自で始末することなどご協力ください。



・座席は1人1席で！

図書館の座席には限りがあります。空いている席に荷物を置かず、他の方が使えるようにしてください。また、例年荷物を置いたまま自宅に戻り、急な体調不良で戻ってこれなくなる人もいます。退館するときは荷物をお持ちください。

・忘れ物にご注意ください！

毎日の館内整備で、USBや文具、家の鍵などの忘れ物が見つかります。退館前に、忘れ物が無いかもう一度座席をチェックすると確実ですよ。

文献探しが
うまくいかない！



こんなときは
図書館カウンターへご相談を！

実習が始まる学生さんや研究用の資料集めで文献検索を始める方も多いと思います。

もし文献が思うように見つからない時はぜひご相談ください！

長期貸出図書の返却期限は

1/15(火)まで。

返していない方はお忘れなく！